事務局長談話６

安全衛生対策強化月間～思いを込めてご安全に！～

ご安全に！2021 年の年が明け、早や１か月が経過しました。仕事始めの１月５日には、水天宮へ安全祈願に行ってきました。いつもであれば、基幹労連役員全員で対応するところですが、今年はコロナ禍。四役と安全担当で基幹労連に係わる全ての仲間の安全と健康、今年こそは死亡災害ゼロをと祈願させていただきました。

昨年、2020 年は 14 件 14 人もの尊い仲間の命が失われてしまいました。その状況を見ると

① 組合員と協力会社社員の比率では、協力会社社員が 78%と高い

② 勤続年数別では 10 年以下が 51%、経験年数別では 15 年以下が 42%、年齢別では、46 歳以上が 86%、そのうち 67%が 46 歳以上から 55 歳であり、中高年齢層で勤続が短く経験の浅い層が被災

③ 型別では、墜落・転落が７人、挟まれ・巻き込まれが４人と、この２つが多い傾向に変わりはないが、挟まれ巻き込まれは減少

という傾向になっています。

２月は安全衛生対策強化月間です。1 月 13 日付けの基発 414 で「重大災害をはじめとする労働災害の撲滅」を重点目標に掲げ、強化月間における実施要領を発信しました。具体的には、①重大災害をはじめとする労働災害の撲滅向けた活動　②職場における「ご安全に」の声掛け運動の強化　を実施事項として、死亡災害を分析・取りまとめたデータの活用による類似災害発生防止に向けた活動や安全ポスターの掲示による啓発活動、職場パトロールによる不安全箇所の是正活動などをお願いしています。

あらためて「仲間の安全と健康を願う気持ち」と「自らの誓い」の思いを込めた「ご安全に」の言葉・挨拶を、職場へ徹底し浸透させる活動・取り組みをお願いします。

いよいよＡＰ２１春季取り組みがスタートしますが、その土台となるのは仲間の安全と健康です。国内外の経済動向が厳しさを増す中で、未だに収束の兆しすら見えない新型コロナウイルス感染症の影響も相まって、基幹労連に関係する産業・企業も厳しい事業環境におかれ、そうした状況を乗り越えるために、職場・組合員は懸命の努力と対応を続けています。年間一時金、賃金改善を含む格差改善をはじめとした労働諸条件の改善に取り組み、成果を得るのは勿論のこと、労使が真摯に協議・交渉する経過をタイムリーに職場・組合員に伝えることも重要です。そうした対話活動においても常に「ご安全に」の声掛けをお願いいたします。

全ての職場で「ご安全に！」
全ての働く仲間のために「ご安全に！」
思いを込めて「ご安全に！」

2021 年２月１日

日本基幹産業労働組合連合会
事務局長　津村　正男